

第2次高島町中小企業・小規模企業振興計画（案）に寄せられた意見の概要と 意見に対する高島町の考え方

1 意見の募集期間 令和7年12月22日（月）～令和8年1月9日（金）

2 提出された意見の件数 4件（意見人数2人）

3 提出された意見の概要及び意見に対する高島町の考え方

意見の該当	高島町の考え方
<p>（意見）</p> <p>高島は有機の里であり、町の「まほろばみのり」ブランドを加工食品に広げ、高島ならではの商品を作ること、販売することがこの町の商工業を元気にするのではないかと考えている。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>11ページの問4－1 高島町の産業の強みだと考えているものについて、「農業、食品工業」に関連するものが最も多く、町としても重要な取り組みと位置付けております。</p> <p>23ページの1－6「地域資源活用の促進（地産地消の推進）、24ページの1－11「農商工連携の促進・6次産業化の促進」の内容にご賛同いただいたご意見と理解しておりますが、ご意見を踏まえまして、24ページの1－11「農商工連携の促進・6次産業化の促進」の内容を下記のとおり補足修正します。</p> <p>24ページ 1－11「農商工連携の促進・6次産業化の促進」 （変更前） （1）農業者と商工業者の業種を超えた連携を促進し、地域資源を活用した新商品開発やその販路拡大の取り組みを支援する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>（変更後） （1）農業者と商工業者の業種を超えた連携を促進し、<u>町共生農産物認証「まほろばみのり」に認証された農産物等の地域資源</u>を活用した新商品開発やその販路拡大の取り組みを支援する。</p> <p>※下線部を追加</p>

意見の該当	高島町の考え方
<p>(意見)</p> <p>27ページの2-3(1)、31ページの4-2町施策の方向性、35ページの(5)、39ページ第9条の教育に関連する部分について、総合的な学習の時間における町内企業の方々の力添え(講話や、ワクワクワーク等)は、生徒のキャリア形成に向け大きな一助となっている。町内企業の理解を深める点としても非常に大きな役割を果たしていることから、引き続き実施してほしい。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。教育に係る内容にご賛同いただいたご意見と理解しています。</p> <p>ご期待に沿えるよう尽力いたします。</p>
<p>(意見)</p> <p>27ページの2-4と2-5について、働き手が休みやすい環境づくり(福利厚生の実)が大切だと感じている。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>26ページの基本方針2 人材の確保・育成の方向性に記載のとおり、誰もが活躍しやすい環境づくりを支援してまいります。</p>
<p>(意見)</p> <p>18ページの(7)「また、産業間の連携による町内や置賜圏域における経済循環の促進を図ることが必要となっております。」の文末の表記に違和感がある。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>ご意見を踏まえまして、18ページの(6)、(7)を下記のとおり修正します。</p> <p>18ページ 3-2「経営基盤の強化と生産性の向上」 (変更前)</p> <p>(6) 農林業においては、地域で生産された農林畜産物の消費拡大につなげるために、農商工連携や6次産業化などをさらに進める必要があります。なお、町内で調達できるものは町内の事業者で購入する仕組み・仕掛けをつくり、内需拡大・地産地消を推進することにより、事業者・生産者の収入増につなげるとともに、町内製品の消費拡大を進める取組みが求められております。</p> <p>(7) また、産業間の連携による町内や置賜圏域における経済循環の促進を図ることが必要となっております。</p>

	<p>(変更後)</p> <p>(6) 農林業においては、地域で生産された農林畜産物の消費拡大につなげるために、農商工連携や6次産業化などをさらに進める必要があります。なお、町内で調達できるものは町内の事業者で購入する仕組み・仕掛けをつくり、内需拡大・地産地消を推進することにより、事業者・生産者の収入増につなげるとともに、町内製品の消費拡大を進める取組みが求められております。さらに、産業間の連携による町内や置賜圏域における経済循環の促進を図る必要があります。</p> <p>(7) は削除</p>
--	--